



令和元年(2019年)10月10日

各 位

東京都中央区八丁堀二丁目10番9号
ユニゾホールディングス株式会社
取締役社長 小崎 哲 資
(コード番号: 3258 東証第一部)
問合わせ先 専務取締役兼専務執行役員 山本正登
電話 03-3523-7536

令和元年度(2019年度)連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和元年(2019年)10月10日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、本年7月29日の令和2年(2020年)3月期第1四半期決算発表時に開示した令和2年(2020年)3月期(平成31年(2019年)4月1日～令和2年(2020年)3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 令和元年度(2019年度)連結業績予想数値の修正

(1) 令和元年度(2019年度)第2四半期累計期間の連結業績見通し

(イ) 内容

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 連結四半期純利益
第2四半期業績予想(A)	百万円 23,300	百万円 6,900	百万円 4,600	百万円 15,300	円 銭 447.10
第2四半期業績見通し(B)	23,100	6,200	4,000	17,700	517.24
増減額(B-A)	△200	△700	△600	2,400	70.14
増減率(%)	△0.9	△10.1	△13.0	15.7	15.7
(参考)前期連結比較情報 (平成31年(2019年) 3月期第2四半期)	29,191	9,762	6,689	6,375	195.86

(ロ) 理由

キャピタルリサイクリングに伴い、固定資産売却益を計上したこと等によるものです。

(2) 令和元年度(2019年度)通期連結業績予想の修正

(イ) 内容

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 45,300	百万円 13,500	百万円 8,800	百万円 26,000	円 銭 759.78
今回修正予想(B)	45,100	12,800	8,200	28,400	829.92
増減額(B-A)	△200	△700	△600	2,400	70.14
増減率(%)	△0.4	△5.2	△6.8	9.2	9.2
(参考)前期連結比較情報 (平成31年(2019年) 3月期)	56,053	17,622	11,796	11,903	356.56

(注) 下期の当社普通株式に対する公開買付けへの対応に係る費用につきましては、予測が困難であるため、織り込んでおりません。

(ロ) 理由

令和元年度(2019年度)第2四半期累計期間の連結業績見通し及び下記2の令和元年度(2019年度)下期事業運営方針等を勘案したことによるものであります。

※上記予想は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいた分析・判断によるものであり、実際の業績につきましては、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 令和元年度(2019年度)下期事業運営方針について

マーケット状況の変化を踏まえ、第四次中期経営計画を前倒しして進めます。

(1) 事業環境認識

(イ) 日本の賃貸オフィスビル市場は、東京都心5区の空室率が2%を下回る水準で横ばいに推移、賃料も東京都心を中心に上昇率の鈍化がみられ、不動産価格はピークアウトしている

(ロ) 米国の賃貸オフィスビル市場は、空室率は一部の都市で横ばい傾向、賃料も一部の都市で下落傾向であり、不動産価格は下降が始まっている

(ハ) 国内ホテル市場は、訪日外国人宿泊者数の増加ペースが減速、日本人宿泊者数も減少傾向、客室供給面においてもホテル新增設が続いており、需給が悪化している

(2) 事業運営方針

(イ) キャピタルリサイクリングの前倒し

(ロ) 費用の一層の削減

・営業費用の一層の削減

・借入金返済による支払利息の削減

以 上



ユニゾホールディングス株式会社

UNIZO Holdings Company, Limited

令和元年度(2019年度)連結業績予想の修正に関する概要



令和元年(2019年)10月10日
東証一部 3258

1. 令和元年度(2019年度)上期連結業績見通し	P2
2. 令和元年度(2019年度)通期連結業績予想の修正	P3
3. 令和元年度(2019年度)下期事業運営方針	P4

1. 令和元年度(2019年度)上期連結業績見通し

前年同期比、減収、営業・経常利益は減益、四半期純利益は大幅増益

売上高、営業利益、経常利益は予想を下回るが、
キャピタルリサイクリングに伴う固定資産売却益計上等により、四半期純利益は予想を上回る

(単位:百万円)

	令和2年(2020年)3月期上期業績見通し ^{※1}			平成31年(2019年) 3月期上期実績 (b)	令和2年(2020年) 3月期上期 業績予想 ^{※2}
	(a)	前年同期比 (a) - (b) = (c)	増減率 (c) / (b)		
売上高	23,100	△6,091	△ 20.9%	29,191	23,300
営業利益	6,200	△3,562	△ 36.5%	9,762	6,900
経常利益	4,000	△2,689	△ 40.2%	6,689	4,600
親会社株主に帰属する 四半期純利益	17,700	11,324	+177.6%	6,375	15,300

※1 令和元年(2019年)10月10日公表

※2 令和元年(2019年)7月29日公表

2. 令和元年度(2019年度)通期連結業績予想の修正

令和元年度(2019年度)上期連結業績見通し、及び
令和元年度(2019年度)下期事業運営方針等を勘案し、通期業績予想を修正

(単位:百万円)

	令和2年(2020年)3月期通期業績予想 ^{※1}			平成31年(2019年) 3月期通期実績 (b)	令和2年(2020年) 3月期通期 業績予想 ^{※2} (修正前)
	(a)	前期比 (a) - (b) = (c)	増減率 (c) / (b)		
売上高	45,100	△10,953	△19.5%	56,053	45,300
営業利益	12,800	△4,822	△27.4%	17,622	13,500
経常利益	8,200	△3,596	△30.5%	11,796	8,800
親会社株主に帰属する 当期純利益	28,400	16,496	+138.6%	11,903	26,000

(注)下期の当社普通株式に対する公開買付けへの対応に係る費用については、予測が困難であるため、織り込まず

※1 令和元年(2019年)10月10日公表

※2 令和元年(2019年)7月29日公表

3. 令和元年度(2019年度)下期事業運営方針

事業環境認識

【日本の賃貸オフィスビル市場】

- 東京都心5区の空室率が2%を下回る水準で横ばいに推移、賃料も東京都心を中心に上昇率の鈍化がみられ、不動産価格はピークアウトしている

【米国の賃貸オフィスビル市場】

- 空室率は一部の都市で横ばい傾向、賃料も一部の都市で下落傾向であり、不動産価格は下降が始まっている

【国内ホテル市場】

- 訪日外国人宿泊者数の増加ペースが減速、日本人宿泊者数も減少傾向、客室供給面においてもホテル新增設が続いており、需給が悪化している



マーケット状況の変化を踏まえ、第四次中期経営計画を前倒しして推進

事業運営方針

- キャピタルリサイクリングの前倒し
- 費用の一層の削減
 - ・ 営業費用の一層の削減
 - ・ 借入金返済による支払利息の削減

Disclaimer

本資料の取り扱いについて

本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。